

鳥取県人口移動調査結果（年報）

【平成28年10月～平成29年9月】

鳥取県人口移動調査において、1年間の状況を下記のとおり取りまとめました。

今回公表から調査対象期間を変更しました。

＜変更前＞1月1日から12月31日（平成28年までの公表）

＜変更後＞10月1日から翌年9月30日（本公表）

○変更理由

10月1日基準の公表とし、国勢調査などと増減比較ができるようにしました。

※変更前の調査対象期間分の取り扱い

従前の調査対象期間（1月1日から12月31日）に係る集計結果についても、しばらくの間公表予定です。
（次回、平成30年2月公表予定）

記

1 人口の増減

前年と比べ4,346人減少し、20年連続の減少となった。

・自然増減では3,195人減少、社会増減では1,151人減少で、20年連続で減少した。

（単位：人）

区 分	人口増減	自然増減			社会増減		
		出生	死亡	県外転入	県外転出		
平成29年(a)	-4,346	4,272	7,467	10,119	11,270		
平成28年(b)	-3,862	4,596	7,458	10,389	11,389		
対前年(a-b)	-484	-324	9	-270	-119		

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

2 自然増減（出生及び死亡による増減）

前年と比べ3,195人減少し、出生数は過去最少で、死亡数は過去最大となった。

・昭和50年以降、出生数は4,272人で過去最少、死亡数は7,467人で過去最大となった。

月 別 出生数は8月が389人、死亡数は1月が785人と最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って人口減少した。（最大減少月1月、443人）

市町村別 日吉津村で7人増加したが、その他の市町では減少し、鳥取市が778人と最も多く減少した。

3 社会増減（県外転入による増減）

前年と比べ1,151人減少し、17年連続の減少となった。

・県外転入の増減をみると1,151人の人口減少で、17年連続での減少となった。また、昭和50年以降県外からの転入者、県外への転出者数とも最少となった。

年齢5歳階級別 社会増減数は30～34歳が105人増加し、20～24歳が858人減少した。

市町村別 湯梨浜町は64人の増、岩美町は44人の増、日吉津村は33人の増となっているが、その他の市町では減少し、倉吉市が298人と最も多く人口減少した。

（単位：人）

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	655	413	191	622	1,786	1,618	1,337	957	688	517	372	301	253	140	88	181
県外転出	605	442	226	868	2,644	1,828	1,232	928	711	583	361	253	166	126	88	209
社会増減数	50	-29	-35	-246	-858	-210	105	29	-23	-66	11	48	87	14	0	-28